



◀ そのほかの取材記事はこちらから ▶

向坂 奈穂美 赤こんリポーター



本の宝探し「古本ゆっくぶっく」

近江八幡図書館の2階では、古本のリサイクル「ゆっくぶっく」が開催中！毎月第1土曜・日曜の2日間に、図書館で廃棄となる本や寄贈された本の販売が行われています。実用的な暮らしの本や読み物、雑誌、絵本など、さまざまなジャンルの本が10円～50円で購入できるので、子どもも大人も「お気に入りの本はあるかな？」とワクワクした気持ちで本の宝探し♪訪れた人たちは、一冊ずつ手に取って、じっくりと吟味していました。入口の「ご自由にお持ち帰りBOX」にもたくさんのお本が入っています。覗いてみると、思わぬ掘り出し物が見つかるかもしれませんね。

松村 美沙枝 赤こんリポーター



誰もが集える田園の居場所

加茂町のおうみ福祉会きみいろ内にある「Den-en Kitchen」は、オープンから2年が経ち、さまざまな交流を生み出しています。カフェにチャレンジできるワンデイキッチン、ふらっと立ち寄れるキッチンカー、美味しい食べ物やお洒落な雑貨の並ぶマルシェ、子育て支援イベントなど、そのときによって見せる顔はさまざまです。普段のカフェ営業の際も、同施設内で製造する「おうみせんべい」を買いに、放課後の小学生が集うこともあるそうです。まちのつながりを作る拠点として、重要な役割を担っていますね。



西野 康代 赤こんリポーター



みんな楽しく和太鼓体験

4月20日に安土文芸の郷練習場で和太鼓体験教室が開かれました。興味があっても和太鼓に触れる機会がなかった大人も、生まれて初めての大きな音に目を輝かせる子どもも、みんな笑顔で和太鼓を叩いていました。和太鼓は音だけではなく、声や息や動きを合わせることも大切。「がんばれ！」と大きな声を出しながら「どどんこドンドン！」と力強く叩いて曲を仕上げました。主催のあづち信長出陣太鼓による迫力ある演奏も目の前で聞いて、とても楽しい時間になりました。

山田 恵美 赤こんリポーター



ここにしかない体験を 近江八幡で

「コト消費」の体験型事業を新しく実施する事業者に対し、市は「体験型事業創出事業補助金」で支援しています。支援先のhana*waden(大工町)が開催する「～八幡堀の魅力に触れる～フラワー Photo ワークショップ」にモニター参加してきました。八幡堀沿いにあるhana*wadenのお庭で、旬花でオリジナルのフラワーアレンジを制作。その後、八幡堀のお気に入りの場所で、プロのカメラマンに作品とともに写真を撮ってもらい、お茶タイムを満喫しました。つくる楽しみ、風景をゆっくりとながめる楽しみ、おしゃべりする楽しみ。ネットで何でも買える時代だからこそ「ここ近江八幡でしか味わえない楽しみ」を感じる体験でした。



市内のイベント情報ははこちらから ▶

5月4日

～能登の復興を祈願して～
伝統の仕掛花火「篠田の花火」

「近江八幡の火まつり」の1つとして国選択無形民俗文化財に指定され、毎年、世相をからめ趣向を凝らした和火が彩る「篠田の花火」が篠田神社で開催されました。

今年は「御陣乗太鼓とキリコ」がテーマ。地震と豪雨による甚大な被害に見舞われた能登復興を祈願して、輪島の伝統文化を表現されました。午後8時過ぎからの打ち上げ花火の後、仕掛花火に点火されると、色鮮やかな「吊りランス」とよばれる洋火、ナイアガラ花火などの後、もうもうたる煙が消えると、静寂のなか、藤紫色の絵柄が浮かび上がり、境内を埋めた見物客は幻想の世界にしばし酔いれました。

4月24日～5月20日



「青空を悠然と泳ぐこいのぼり」

川沿いを散歩して楽しむ親子や総合医療センター入院患者の心の癒しになるようにと、「白鳥川の景観を良くする会」が、同センター付近の白鳥川にこいのぼり川渡し、こいのぼりあげを行いました。今年で13回目となり、2日間で述べ60人のメンバーらが参加し、約120匹のこいのぼりを設置。早速、近隣に住む親子連れや遊歩道を散策する人が足を止めて、気持ちよさそうに泳ぐ色とりどりこいのぼりを楽しんでいました。



左から 向坂 奈穂美さん(安土町西老蘇)、松村 美沙枝さん(船木町)、西野 康代さん(安土町上出)、山田 恵美さん(西本郷町)

市民が地域の魅力やイベントの取材情報などを、市広報紙やSNSなどで発信する「赤こんリポーター」の今年度のメンバーが決まりました。これからも市内のさまざまなできごとを、市民目線でお伝えしていきます。

過去の記事
はこちら

4月19日

大松明の奉納神事
「沙沙貴まつり」

沙沙貴神社に祀られている少彦名神を湖上から神社へ迎えることが由来とされている大松明の奉納神事が、安土町常楽寺で行われました。地元のヨシで作られた大松明を横倒しにして、「満寿(神明縄)」のほか「駕与丁」の頭領が乗り込み、手桶踊りを披露しながら、「ヨッサー、ヨッサー」と掛け声をかけ、金刀比羅神社から沙沙貴神社まで氏子らによって引かれました。夜に大松明が沙沙貴神社に到着し、奉納神事を終えた後、境内で奉火され、五穀豊穡を祈りました。